

川上流路工（かおれりゅうろうこう）事業概要

- 豪雨時における溪岸や溪床の崩壊、浸食を防止し河道の安定化を図るとともに、土砂や流木を伴う激流を安全に流下させることで、川上地区および下流域の安全確保を目的とした延長1,434m、砂防堰堤2基、床固工13基からなる流路工
- 昭和45年に整備されたが、老朽化や土砂の異常堆砂が進むとともに、橋梁部においてせき上げによる越水被害のリスクが高まったため、老朽化対策(施設改築)とともに施設の増設や橋梁の架け替え工事などを実施
- 令和6年3月に工事完了



せきあげによる土砂や流木等の流出・氾濫状況

川上流路工改築事業

整備箇所 : 岐阜県中津川市 川上地区
 事業期間 : 平成20年度～令和5年度
 事業費 : 約22億円
 施設概要 : 延長 1,434m
 砂防堰堤 2基
 床固工 13基
 帯工 2基

新たに整備した施設

砂防堰堤 1基 ※既設堰堤を更新・新設
 床固工 1基
 帯工 2基
 護岸工 約260m